



西川町 議会だより

吉川区 月山神社祭典

「若い人」シリーズ
よしかわわかしゅうかい
「吉川若衆会」のみなさん
活動紹介は裏表紙にあります。

2014.7.15 89号

発行 山形県西川町議会

| | |
|----------------|----|
| 6月定例会報告 | 2頁 |
| 補正予算 | 6 |
| 一般質問 | 7 |
| 行政視察報告 | 10 |
| もっと知ろう「国会と町議会」 | 12 |
| 議会の動き | 14 |
| 議会と町民の対話の集い開催 | 15 |

※モニターの声は前号の議会だよりに対するものです。



第6次総へどうつなぐ



平成26年6月定例会は、6月2日から5日までの4日間の開催となり、町からは、人権擁護委員候補者の推薦や補正予算など6件の案件提出と、西川町総合開発株式会社と株米月山の経営状況報告がありました。議会からは継続審査としていた2件の請願採択と、意見書提出を議題としました。
一般質問は5人の議員が6件について行いました。

6月定例会の開催中に、第5次総合計画の最終実績となる後期実施計画の報告がありました。
第5次総は、自らの力で揺らぐことなく夢のある明るいまちづくりを目標に『豊かさ自立への挑戦』とし、7つの基本構想を掲げてきましたが、報告を受けた結果次のような課題が見えてきました。
議会では各分野の実績をしっかりと検証し、すでに始まっている第6次総へどうつなぐのかを確認し、過不足があれば町と協議して速やかに課題を解決するように活動していきます。



- 課題と思われる点**
- ① 拠点地形成事業として計画された住宅団地の第2次購入予定地の見通しが立っていないこと
 - ② 定住人口を確保するには、就労の場が必要であるが、企業の倒産や撤退に対する対策がなされていないこと
 - ③ 6次産業の要となるはずの山菜やきのこ、特色ある農産物の量産化が図られていないこと
 - ④ 82万人とした観光交流人口の目標が達成されていないこと
 - ⑤ 流雪溝の整備が進んでいないこと
- 6次産業を成功させるには、町の特性にあった山菜や農産物の量産化を図り、産業として育てるには町を上げて取り組まなければなりません。
また、企業誘致が難しい時代ではありますが、町存続のためには働

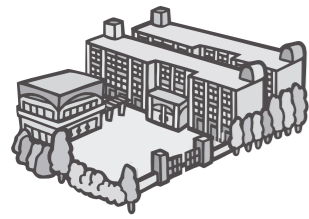


▲西川小学校運動会

く場所を確保する必要があり。生活では、冬期間でも安心して暮らせる町にしなければなりません。

なお、詳細については次の表のとおりです。

| 基本構想の7つの分野 | 主な実績と課題 |
|------------|--|
| 1、人口と土地利用 | <ul style="list-style-type: none"> ●みどり団地の整備がなされ、19区画の予定に対し10区画の申し込みがありました。さらに第2次購入予定地の見通しを立て、住み続けたい町となるための魅力づくりに向けた拠点地の整備が必要です。 ●コーポ陸合の入居者は目標を超えましたが、長期賃貸住宅や高齢者住宅の建設も計画通りに進めなければなりません。 ●働く場の確保は、定住人口の確保に欠かせません。町民の働く場所の確保対策を急ぐ必要があります。 ●交流人口の拡大やIJUターン者の対応についての課題を整理し、今後に向けた対策を示す必要があります。  |
| 2、町民の所得向上 | <ul style="list-style-type: none"> ●町の重点作物である、なす、南瓜、ニンニク、さくらんぼ、啓翁桜、山菜、きのこの生産額は合わせて7,871万円とあまりにも低額です。少量多品目から量産化に向けた取り組みにより所得を向上させることが大切です。 ●認定農業者18人、新規就農者4人、機械利用組合3団体、農業生産法人2団体という現状にあります。生産者を確保するためには、若い農業従事者が力を発揮できる条件を作り上げることが急務です。 ●「月山ブランド」は、ブランド品の拡大を図るために20品目の目標を立てましたが、さくらんぼ、根まがり筍、月山しおで、白い発芽胚芽米の4品目に留まっています。ブランドの活かし方を工夫し拡大することが大切です。 ●平成25年の目標を82万人とした観光交流人口の目標は達成されませんでした。観光立町にふさわしい対策が必要です。また、教育旅行は、日本一の自然教育を目指す町としての施策を強化すべきです。 ●現在24.2%の町内購買力指数を上げるためには、月山フレカや商品券の販売など、町内流通を活発にするための施策が必要です。 ●町内企業の倒産や撤退により働く場が失われています。企業誘致対策を強化することが大切です。  |







問 ケーシーフレーム株式会社は、ケーシースチール株式会社から社名変更しているが、契約上問題はないのか。

答 業務の内容はすべて継承されているので問題ない。

☆人権擁護委員候補者推薦について（再任）
柴田万喜子さん（陸合）
（全員賛成）

☆財産の無償貸付けについて
旧西部中学校グラウンドの一部を、ケーシードの一角を、ケーシードフレーム株式会社に無償貸付していたが、会社の希望により、貸付面積を増やすことになった。
（全員賛成）

| 基本構想の7つの分野 | 主な実績と課題 |
|------------------|--|
| 3、自信と誇りを育む学習と実践 | <ul style="list-style-type: none"> ●スポーツサポート西川、スポーツ少年団、町民みんな体育の日、各種スポーツ大会など、スポーツ的イベントの参加率が低いので、改善のための工夫が必要です。 ●生涯学習の推進体制を強化するとともに、国際社会に対応できる人づくりなどの事業展開が必要です。  |
| 4、安全、安心、安らぎのある生活 | <ul style="list-style-type: none"> ●安全、安心の対策は特に重要です。町民の理解を深めることや共通認識に立てるような手立てと対策が必要です。 ●冬の生活を快適に暮らすための流雪溝の整備による雪対策は、水利権の確保等あらゆる手法で解決することが大切です。 ●克雪、利雪に対する取り組みが不十分です。  |
| 5、美しく快適な生活環境 | <ul style="list-style-type: none"> ●町道改良事業5路線（梅沢根際線、岩根沢線、坂の上線、沢口向中軸線、太郎綱取線）の中で完成したのは岩根沢線だけです。また、橋梁整備事業3橋梁のうち稲沢橋と根子沢橋は工事中です。本道寺橋は平成27年に工事予定です。 ●高速通信網の整備とともにインターネットの接続世帯は53.7%に達しています。 ●水にこだわった町づくりをしてきた経過は町民の誇りとして印象深いが、取り組みの評価と今後の見通しを明らかにしておく必要があります。  |
| 6、生涯にわたる保健と医療と福祉 | <ul style="list-style-type: none"> ●町立病院の利用率が下がっています。町民に親しまれる施設となるようさらなる努力が必要です。 ●総合がん検診の受診率は71.9%、子宮がん検診の受診率は47.6%です。各種健診の受診率を高め、現役80代の目標実現につなげることが大切です。  |
| 7、町民と行政の信頼と協調 | <ul style="list-style-type: none"> ●町長と語る会などを通し、町民と町が情報の共有化を図り、町政への参画意識を高め、いきいきとした信頼関係をつくるのが大切です。 |

経営状況報告

第23期西川町総合開発株式会社

前期からおこなっている売上重視から収益重視を目標に取り組んだ結果、売上高（受託料含む）は4億8千489万6千円と前年対比93%（3千677万4千円減）になりましたが、原価、経費を抑えた事により、純損益は104万5千円と2年連続の黒字になりました。

◆純資産額
資本金 1億円
純資産額 5千140万円
累積赤字額 4千860万円

第8期株式会社米月山

主力商品の白い発芽胚芽米「月山まんま」「つや姫」の取扱量は年間計画の20.9%で販売環境が大変きびしい中、原料玄米の仕入れ価格が高く、収益が低くなっています。できる限りの対策を講じて最善の努力を続けてきましたが、経常利益は68万円の減となり、2期連続の赤字決算になりました。

◆純資産額
資本金 2千万円
純資産額 16万円
累積赤字額 1千984万円

意見書の提出 採択の請願の審査の継続

請願の採択

☆特定秘密保護法の廃止を求める意見書の提出に関する請願書（賛成5 反対4）

☆労働者保護ルール改悪 悪反対を求める請願について（全員賛成）

意見書

☆特定秘密保護法の廃止を求める意見書

同法は、国民の「知る権利」や表現の自由、取材・報道の自由を著しく制限し、日本国憲法の基本原理を根底から覆すもので、秘密の範囲が際限なく拡大し、処罰範囲が広がる可能性があります。現状では到底施行すべきでないと考え、意見書を提出します。

提出先

内閣総理大臣
内閣官房長官
特定秘密保護法担当大臣
衆議院議長
参議院議長

☆労働者保護ルール改悪 反対を求める意見書

解雇しやすい正社員を増やす懸念のある「限定社員」の普及や、「解雇の金銭解決制度」等労働者を保護するルールの後退が懸念されます。論がなされています。こうした現状に鑑み、労働者の処遇改善を求め意見書を提出します。

提出先
内閣総理大臣
厚生労働大臣
経済再生担当大臣
内閣府特命担当大臣
衆議院議長
参議院議長

一般質問

5人の議員が、次のことについて一般質問を行いました。
議会だよりには、1議員1項目のみの掲載となりますので、詳しくは町のホームページの中にある6月定例会録画中継をごらんください。

宮林 昌弘 議員 ◆どうなる、どうする中山間地農業

飯野 咲子 議員 ◆町民体育館の整備について

佐藤 幸吉 議員 ◆「西川町の地酒、地ビール、地ワインで乾杯を推進する条例」の制定を

奥山 敏行 議員 ◆まちづくりデザイン構想をどう進めるか（環境と景観）

伊藤 哲治 議員 ◆各種委託料及び負担金補助及び交付金のあり方について
◆今後の住宅団地整備計画について

補正予算

一般会計は、高速道路上に架かる橋の補修設計と点検業務委託等の補正として、当初予算に2千758万2千円を追加し55億5千458万2千円になりました。
また、簡易水道特別会計は、昨年の災害復旧として大井沢簡易水道管布設替工事等の補正として当初予算に601万6千円を追加し4千855万9千円に、公共下水道事業特別会計は78万円を追加し1億7千725万7千円に、介護保険特別会計は1万円を追加して7億345万8千円になりました。（全員賛成）

質疑

土木総務費

問 防犯灯のLED化に対する補助金の今年度の計画内容と進み具合は。

答 各区からの申し込み数は全体で1千18基だ。
25年度の実施は24基、26年度の要望は37基なので、2年間で56%完成することになる。残り44%は当初の予定どおり平成29年まで申請を受け付ける。

農林水産業費

問 果実の枝折れやビニールハウスの雪害に対する補助金は、大雪で被害が多かったが、適切な除雪をした農家としない農家があるのではないかと確認した上で補助対象農家を決定しているのか。

答 融雪の時期は地区によって異なるので、地区に任せている。また、交付決定金額は実績に応じて、領収証を確認して金額を決定している。



答 JAや地域等に確認して精査し、決定をしている。今回は稲沢の山ブドウの棚とブドウ団地のビニールハウス等に対する補助だ。

問 各地区で春先に融雪のために雪消しをしているが、今年度は大雪の割に春の雪解けが早かった。融雪遅延対策補助金の申請に基準日は定められているのか、地区に任せているのか。

第1回臨時議会

4月25日開催

☆あづま橋の旧橋撤去工事請負金額の増額 528万円
（全員賛成）

（全員賛成）

☆特別職等の給与削減 町長20%、副町長10%、教育長5%
（全員賛成）

第2回臨時議会

5月20日開催

☆役場庁舎耐震改修工事

☆主体工事請負契約
（株）高松木材
3億9千312万円

☆機械設備工事請負契約
弘栄設備工業（株）
5千162万円

☆電気設備工事請負契約
東北電化工業（株）
6千339万円
（すべて全員賛成）

☆町営住宅に使用する
町産木材製品購入
西川町製材協同組合
1千85万円
（すべて全員賛成）

☆2LDK請負契約
（株）佐藤建設
7千884万円

☆3LDK請負契約
建築土田、設楽技
建特定建設工事
5千508万円

主な補正予算

（万円未満四捨五入）

総務費

集落支援員活動支援金 54万円
高速道路上に架かる橋の補修設計等委託料 300万円

農林水産業費

農業施設雪害被害農家へ補助金 221万円

土木費

防犯灯のLED化補助金 99万円
各地区除雪場の春の雪消し対策補助金 248万円
道路工夫賃金（1名追加） 153万円
町道太郎綱取線改良事業 93万円

教育費

コミュニティ助成事業助成金（海味の神輿） 250万円

災害復旧費

町単独土木災害復旧事業 100万円

簡易水道特別会計

大井沢佐土橋配水管布設替工事等 602万円

公共下水道事業特別会計

西間沢地内地下水対策工事 77万円

農業政策

どうなる、どうする中山間地農業

町長 国の政策を見極めながら振興を図る



宮林 昌弘 議員



▲原地内の水稲作付状況

問 ① 国の農業政策は大きく転換しようとしている。TPPや減反廃止に対する町長の見解は。
② 農業従事者の高齢化と後継者不足で耕作放棄地の増加が予想される。農地の維持管理や後継者育成対策をどう考えているか。
③ 町の農産物は以前から少量多品目で、農産物の顔が見えない。町の顔となる特産物の産地づくり対策をどう考えているか。
④ 農業生産の持続可能な取り組みによる農村の生き残り策は。

答 ① 中山間地域では、減反廃止の打撃は大きいと認識している。
② 専業農家は18戸、認定農業者は18人と少なく、農業従事者の平均年齢は71.7歳と県内で一番高齢であることから担い手の育成は緊急の課題と認識している。
農地は、中山間直接支払制度により26の集落協定を結び、維持管理を行ってきた。今後とも国の制度を有効に活用したい。
③ そば、枝豆、カボチャ、ナス、ニンニクなど徐々に収量・収益は増えている。啓翁桜の規模拡大なども実施しており、特産品の産地化は徐々に図られている。
④ 国の政策を見極めながら町の農業振興を確立していく。



奥山 敏行 議員

環境と景観 まちづくりデザイン構想をどう進めるか

町長 地域との協働で推進する



▲上間沢の水仙

問 前回の質問では、第6次総の町づくりデザイン会議の設置についての消極的な回答に失望した。第6次総は町存続の最後の砦だ。積極的な推進を希望する。

答 近年の観光は、訪れた土地を歩き、買い物や飲食をし、自然散策をしながら地域の暮らしを五感で楽しんでいる。観光立町を目指す西川町にとって、美しい景観と保全された環境は重要な観光資源と捉えている。各地区の地域づくり計画にも豊かな自然や地域の特性を生かした里山づくり、町並みづくり、歴史文化施設の保全対策が盛り込まれており、地域との協働で環境整備を推進していきたいと考えている。環境基本計画の策定予定はないが、環境、景観を町の宝として保全や活用を行なっていく。



飯野 咲子 議員

町民体育館 耐震対策の状況説明とアンケート調査を

町長 説明はするがアンケートは考えていない



▲町民体育館

問 町民体育館は、当初耐震補強の改修も安いと「町長と語る会」で説明した。その後、新築の予算が大きく変わり、現在改修6億、新築では付帯工事や備品等で大変な金額となる。国は東日本大震災後、改修の補助を新築と同率にし、適切な改修で建物の寿命を70〜80年に延ばせるとしている。不特定多数の人が利用する施設は、安全が最も大事だ。新築か改修について町民への説明とアンケートが必要ではないか。

答 体育館の整備検討は一昨年の町長と語る会で意見を聞き、その後役場内部の検討委員会と町民による検討委員会を設置し、意見を集約した。建設単価の上昇や委員会の協議結果に基づく設備の追加などにより、当初見込まれた金額より上昇したために、議会に説明するとともに、昨年の町長と語る会でも説明した。町民体育館に求められるのは、まずもって安全であり、生涯スポーツの拠点としての利用に比べられる施設にしていくことが重要だと認識している。今後の進め方は今年の町長と語る会で説明する。新築か改修かのアンケートを取ることは考えていない。



伊藤 哲治 議員

予算執行 委託料、補助金、交付金等のあり方を問う

町長 有効に適正使用している



▲(株)米月山工場

問 ① 業務委託の中で投資的・施策的な観点からの予算総額に占める委託料の割合はいくらか。② どのような考えに基づいて委託を決定しているのか。③ 平成25年度の個人に対する負担金、補助金及び交付金等の総額はいくらか。交付後の検証はどのように実施し、その結果をどのように反映していくのか。④ 第3セクターの平成25年度経営状況と委託料の関連をどのように捉え、今後対処する考えなのか。

答 ① 委託料の割合は10%で5億5千万円。適切で効率的な公共サービスを提供するためには、各種団体や民間企業にも役割を担ってもらう必要がある。委託は重要な手法と考えている。② 約6千5百万円だ。事業終了後は担当課による評価と総合計画の達成状況の観点から検証を行い、継続や廃止等の決定をして翌年度に反映させている。③ 西川町総合開発(株)は、指定管理制度に基づく委託であり経営状況と直接関連はない。(株)米月山は、総合産業のひとつとして建設した町の施設なので、事業が軌道に乗るまでは維持管理の業務委託を行う。



佐藤 幸吉 議員

乾杯条例 「西川町の地酒・地ビール・地ワインで乾杯を推進する条例」の制定を

町長 60周年記念の一つとして進めていく



▲西川フェア開会式

問 町には「地酒・地ビール・地ワイン」の3つの酒が製造されており、自然豊かな町の恵みの産物として、西川フェアなどのイベントでは大変人気がある。今年、山形県のデスティネーションキャンペーンの年であり、3つそろった酒の宣伝は時期を得た取り組みと考えるが、どのように計画しているのか。町で、「西川町の地酒・地ビール・地ワインで乾杯を推進する条例」を制定し、宣伝活動してはどうか。

答 町には月山の湧水から生まれた日本酒、地元の風土を生かしたワイン、県内唯一となる地ビールがある。3種がそろっている県内唯一の町として情報発信することは観光素材としても有効だ。デスティネーションキャンペーンは6月14日から3か月間実施されるので、町の魅力を全国に情報発信する好機ととらえており、地ビール月山には「山形ビール」、月山自然水には「山形日和」のラベルを付けて県内全域での販売を展開し、売上を伸ばしている。乾杯推進の条例は、今年町制施行60周年を迎えるので、記念事業の一つとして進めていく。

※デスティネーションキャンペーンは、地方自治体や観光業者等がJRRグループと連携して、全国から誘客を図ることを目的とする日本最大規模の観光キャンペーン。

行政視察報告

活かそうわが町に

5月14日に金山町と大石田町に行きました。

★産業建設常任委員会 行政視察

金山町

- ・人口 6千175人
- ・世帯数 1千803世帯
- ・面積 161.79 km²
- ・予算規模 35億円

・視察の目的

- ① 森林資源を活用した新エネルギーの導入
- ② 克雪と利雪

木質バイオマスボイラー

- ◆ 平成17年度に新エネルギービジョン策定調査を行う。
- ◆ 町内の重油等の消費が多い主要施設で木質バイオマスエネルギーへの転換を図ることとし、平成18年に詳

細ビジョンを策定。
◆ 平成25年3月に完成した温泉施設のボイラーの管理は、グリーンバレー神室振興公社に指定管理として委託。

◆ 総事業費は約1億7千600万円、うち補助金が1億2千600万円。

◆ 町内の木材関係者が燃料のチップ材を供給する事になり、町内の産業活性化と雇用の確保につながった。

◆ 重油からチップ材に変えた事で、年間200〜300万円の燃料費の削減が期待される。

雪室

- ◆ 国土交通省の1/2の助成を受け、2千300万円で雪冷房システムを構築した。
- ◆ 雪で冷やした空気を金山町森林交流センターの冷房として利用している。9月上旬まで利用が可能で、食



▶ 木質バイオマスボイラー棟（金山町）

品の貯蔵にも活用している。
◆ 事業は、国土交通省が実施している「特別豪雪地帯産官学連携プロジェクト推進事業」の支援を受けて実施した。

大石田町

- ・人口 7千917人
- ・世帯数 2千379世帯
- ・面積 79.59 km²
- ・予算規模 66億円

・視察の目的

- ① 克雪と利雪

流雪溝の整備

- ◆ 流雪溝に必要な用水を最上川から取水し、ポンプで圧送し流水するという消流雪水導入事業を、国直轄で実施している。平成12〜14年の総事業費（国費）は約23億円。
- ◆ 取水した水を流す流雪溝は、県道と町道それぞれの道路管理者が整備した。流雪溝の延長は約18km。
- ◆ 年々高齢化が進み、除排雪作業の負担が増え、多大な労力と時間を費やしている。



▶ 揚水機場施設（大石田町）

たが、この事業により約800世帯の負担軽減が図られた。
◆ 今後の整備は、国の財政事情が悪化する中、厳しい状況にはあるが、繰り返し要望しながら粘り強く進めて行く。

今回総務厚生常任委員も全員同行し、2つの町の視察を通して感じたことは、事業を計画したら、国・県等の行政機関、地域の地場企業、学識経験者等との連携を図り、着実に粘り強く事業を推し進める事が肝要ということでした。

★議会運営委員会 行政視察

会津坂下町

- ・人口 1万6千491人
- ・世帯数 5千426世帯
- ・面積 91.65 km²
- ・予算規模 83億円

・視察の目的

- ① 自治基本条例

- ◆ 「まちづくり基本条例」
- ◆ 地方分権への対応として、自己責任、自己決定の自治体運営のルールづくりのために条例を制定した。
- ◆ 条例が期待するもの
- ・自治運営の仕組みが分かりやすく示される
- ・行政運営の指針となる
- ・他の条例制定の指針となる



▲会津坂下町での研修

- ◆ 赤レンガを基調とした「共感を呼ぶ公共施設」を配置する統一した美しい町づくりを実施している。
- ◆ 町づくりは人づくり・人づくりは教育であるとの信念に基づき、教育の充実に力を注いでいる。3歳までは保育所、4歳以上を幼稚園とし、幼・小・中一貫教育としている。
- ◆ 一貫教育実現のため、平

・住民参加、参画やその方法が明示され一層自治意識が高まる
などであった。

磐梯町

- ・人口 3千32人
- ・世帯数 1千200世帯
- ・面積 56.69 km²
- ・予算規模 42億円

・視察の目的

- ① 若者定住対策
- ② 光ファイバー網を活用した行政情報の活用
- ③ 町の特性を活かした施策の展開



▲説明をしてくれた磐梯町長

- ◆ 成17年から幼稚園を無料にした。
- ◆ 幼稚園から英語教育を導入しALT2名を配置。中学3年生は全額公費負担でカナダにホームステイできる。
- ◆ 平成17年度から若者住宅40戸を建築し、平成25年度までに39組の夫婦と子ども69人が入居した。
- ◆ 格安の価格設定の他に、第3子がいる世帯の家賃は3万円、第4子がいる世帯は1万5千円などの工夫を行なった結果、子どもの数は増加し、学校も複式学級を解消するなど確実に成果を上げている。
- ◆ 光ファイバー網を整備し

6月17〜18日に福島県会津坂下町、磐梯町、新地町に行きました。

その後、更に活用して防災行政情報システムとテレビ電話を一本化し、音声、文字、画像による情報発信を全戸に対して行なっている。
◆ 過疎地でありながら、都市部と同等に、高速・大容量な通信回線や通信環境が整備されていることで、企業誘致や定住が図られ、人口の増加と活性化が促進されている。

新地町

- ・人口 7千936人
- ・世帯数 2千609世帯
- ・面積 46.35 km²
- ・予算規模 170億円

・視察の目的

- ① 総合体育館の設備

- ◆ 東北電力と東京電力の出資による火力発電所があり、予算規模は大きい。
- ◆ 体育館の工事費は約17億円、平成11年にオープンした。
- ◆ アリーナは1千428㎡でバレーコート3面分、その他



▲新地町体育館のトレーニングルーム

の設備としてステイジ、更衣室、シャワー室、幼児室、保健室、会議室、観覧席等がある。
◆ 建設から14年が経過し、施設の利用状況は、シャワー室と幼児室の利用は少なく、トレーニングルームには7種類の機械があるが主に1種類しか使用されていないかった。

今回の視察を通して、感じたことは、徹底した議論の中で手間と暇を惜しまず、トップが決意を持ってやる事が「まちづくり」にかける真髄であると話されていた事です。

もっと知ろう

シリーズ1

国と町の議会って違うの？

町議会は二元代表制



町議会の権限
町長は、町の仕事や予算、条例などを提出する権利がありますが、一人で決めて実行することはできません。実行するかしないかを決める議決権は議会にあります。

町長の権限
町長は、町の仕事や予算、条例などを提出する権利がありますが、一人で決めて実行することはできません。実行するかしないかを決める議決権は議会にあります。

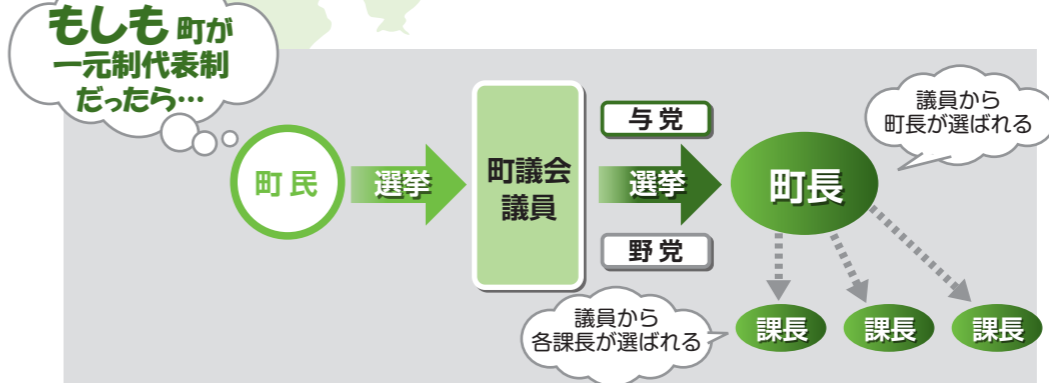
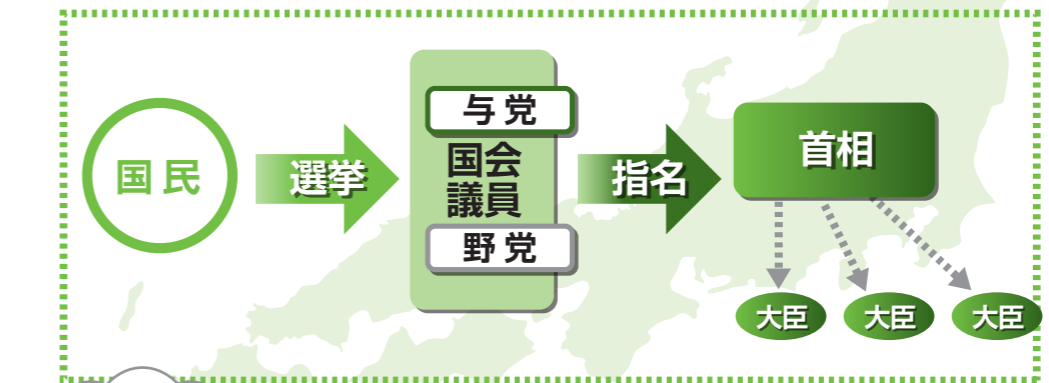
町の仕事を決める
町長が提案した仕事や予算、条例などを実施すべきか、もっと検討すべきかの決定を行います。

町の仕事を確認する
町の仕事や予算、条例などが、法律に違反していないか、町民にとって公平であるか、効率的に進められているか、などについて、町民全体の立場に立った視点で、常に監視しながらその良し悪しを判定し、評価します。

町議に与党・野党はない
町議会には、常に町長に賛成する「与党」

一元代表制と二元代表制

国会は一元代表制



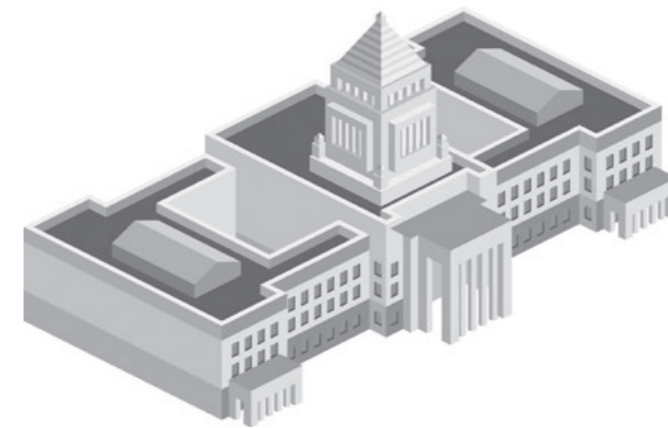
国と町、2つの議会は、同じような運営をしているように見えますが、この2つの組織は全く違った仕組みになっています。

国会は二元代表制

一元代表制とは、国民が選挙で選んだ国会議員が、国会で内閣総理大臣を指名し、総理大臣が必要な大臣を任命して内閣をつくり、国会に対して連帯して責任を負う仕組みのことです。

国会は、総理大臣が所属する与党と野党に分かれますが、野党には次のような重要な役割があります。

- ・ 政策や法案に対して修正すべきところは修正を求める。
- ・ 与党が強引な国会運営を行なった場合には歯止めをかける。
- ・ 一元代表制は、与党と内閣が一体であることから、与党が圧勝した場合には、野党の歯止めがきかず、独断専行となる危険性もあります。



語ろう! 西川のために 「議会と市民の対話の集い」開催 意見を! 未来のために

- 1 観光産業の振興
- 2 就労の場の確保
- 3 克雪・利雪

★産業建設常任委員会



- 1 町立病院の在り方
- 2 小中一貫教育の在り方
- 3 町民体育館

★総務厚生常任委員会



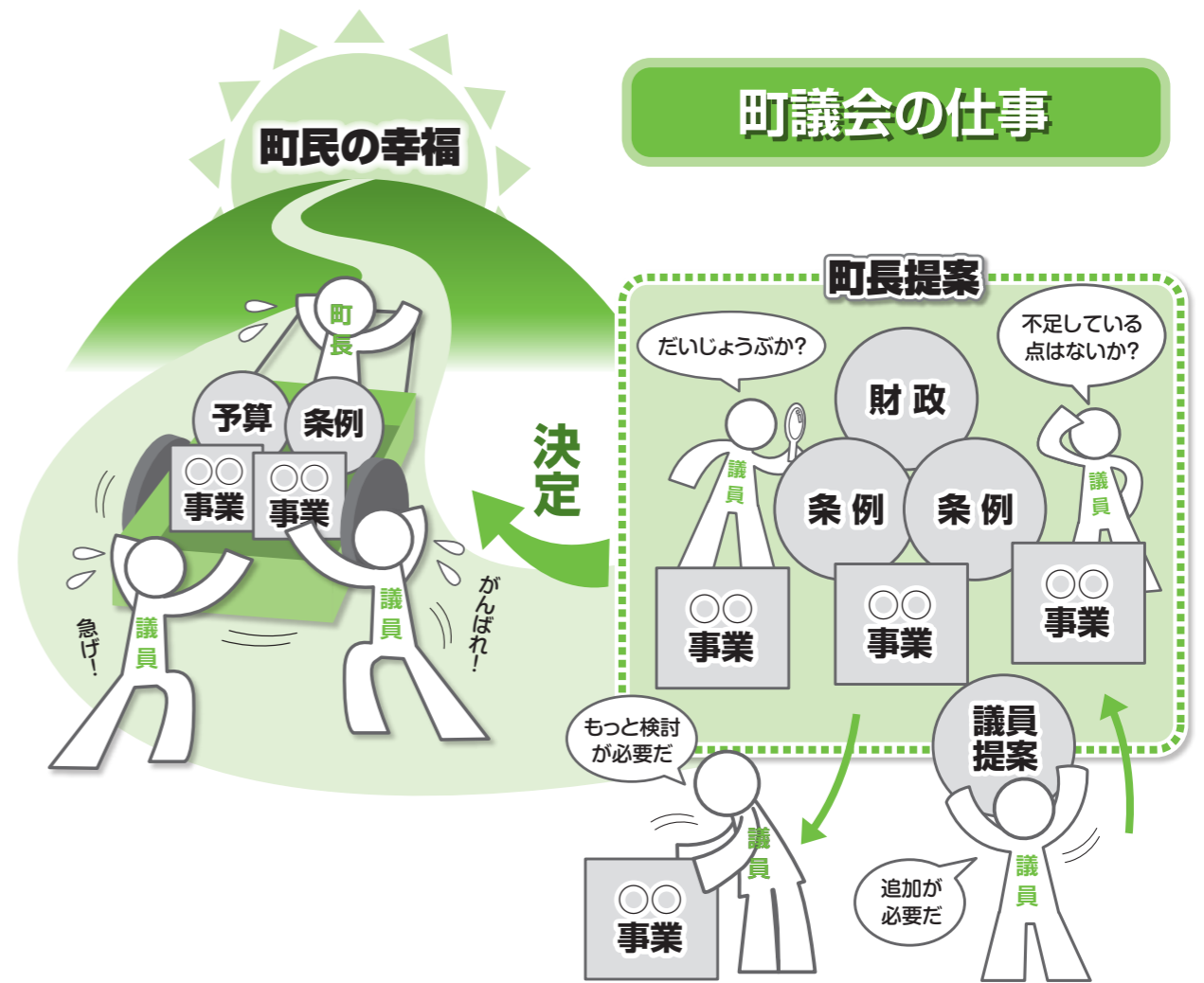
議会が調査している主な事項

町民の皆さんと対話することを目的として、対話の集いを開催いたします。
 昨年は豪雨災害により中止いたしましたので、今年ぶりの開催となりますが、まちづくりの問題や課題について皆さんの声をお聞かせください。

◆日程

| 期 日 | 時 間 | 地 区 | 場 所 | 担 当 |
|----------|---------|-----|-------------|-----------------------------|
| 7月22日(火) | 午後7時30分 | 海 味 | 海味公民館 | 井場榮治・宮林昌弘・奥山敏行 横山 修・佐藤耕二 |
| 7月25日(金) | 午前10時 | 志 津 | 志津会館 | 青山知教・古澤俊一・伊藤哲治 佐藤幸吉・飯野咲子 |
| | 午後7時30分 | 綱 取 | 綱取公民館 | 青山知教・宮林昌弘・伊藤哲治 佐藤幸吉・飯野咲子 |
| 7月28日(月) | 午後7時30分 | 沼 山 | 沼山多目的集会センター | 井場榮治・古澤俊一・奥山敏行 横山 修・佐藤耕二 |
| | 午後7時30分 | 水 沢 | 高齢者コミセン | 青山知教・宮林昌弘・伊藤哲治 佐藤幸吉・飯野咲子 |
| 7月29日(火) | 午後7時30分 | 本道寺 | 本道寺地区集会センター | 井場榮治・古澤俊一・奥山敏行 横山 修・佐藤耕二 |
| | 午後7時30分 | 入 間 | 入間公民館 | 青山知教・宮林昌弘・伊藤哲治 佐藤幸吉・飯野咲子 |
| 7月31日(木) | 午後7時30分 | 岩根沢 | 岩根沢公民館 | 井場榮治・古澤俊一・奥山敏行 横山 修・佐藤耕二 |
| | 午後7時30分 | 吉 川 | 吉川地区研修センター | 青山知教・宮林昌弘・伊藤哲治 佐藤幸吉・飯野咲子 |
| 8月 1日(金) | 午後7時30分 | 間 沢 | 間沢公民館 | 井場榮治・古澤俊一・奥山敏行 横山 修・佐藤耕二 |
| 8月 4日(月) | 午後7時30分 | 小 山 | 小山児童館 | 青山知教・宮林昌弘・伊藤哲治 佐藤幸吉・飯野咲子 |
| | 午後7時30分 | 睦 合 | 睦合公民館 | 井場榮治・古澤俊一・奥山敏行 横山 修・佐藤耕二 |
| 8月 5日(火) | 午後7時30分 | 大井沢 | 大井沢交流促進センター | 青山知教・宮林昌弘・伊藤哲治 佐藤幸吉・飯野咲子 |

町議会の仕事



議会の動き

- 6月2日 第5次総後期実施計画最終実績等
- 7月3日 議会と市民の対話の集い検討
- 4月18日 第1回臨時会の運営
- 5月15日 第2回臨時会の運営
- 5月22日 第2回定例会の運営
- 6月17・18日 行政視察

総務厚生常任委員会

- 4月16日 事務調査「町の財政計画」
- 5月13日 事務調査「町民体育館」
- 6月2日 請願審査・事務調査の課題整理

産業建設常任委員会

- 5月14日 行政視察
- 6月2日 請願審査・事務調査の検討

広報公聴常任委員会

- 6月3日 レイアウト会議
- 6月13日 議会だより編集会議
- 6月19日 議会だより編集会議
- 6月27日 議会だより第1回校正
- 7月1日 議会だより第2回校正
- 7月4日 アドバイザー指導
- 7月8日 議会だより第3回校正

(各委員会とも全員出席)

議会だより読者モニターを 募集中

活動内容は、議会だよりを読んで、その感想をアンケート用紙に記入して返送するというものです。中学生、高校生の皆さんも大歓迎です。ボランティアとしてのご協力をお願いいたします。

応募締切日 8月20日(水) 午後5時
 連絡先 西川町議会事務局 電話74-5055

『若い人』シリーズ 7

よしかわわかしのうかい
吉川若衆会の活動



代表 工藤 誠 さん (吉川)

吉川区の月山神社祭典は今年で34回目を迎えました。祭りは、例年5月3日の開催とされていますが、今年も初夏を思わせるような晴天となり、多くの区民の皆さんの参加のもと盛大に開催されました。

遠くに月山の姿を眺めながら、6つの町内会を各神輿が巡回し、午後からは、旧川土居小学校体育館を会場に演芸会で楽しい一日を過ごしました。

この月山神社祭典の始まりは、地域の先輩方が各町内会若衆会の組織を中心として話し合いを持ち、区役員の方々や公民館、町内会、婦人会、そして子供育成会、青年部など各種団体の協力のもと、地域おこしの大事業として実現されたもので、今日まで継続されてきたものです。

今では、区民の皆さんの意識と生活の中しっかりと

と根付いており、先輩の先見の明と偉大さを感じています。

今年も各町内会若衆会を中心に実行委員会を組織し、これまでの実績を受け継ぎながら話し合いを重ね、準備を行い開催しました。

開催にあたっては、区民の皆さんや事業所から貴重なご寄付と区からのご支援をいただいていることに感謝しています。

来年が35回目を迎えます。これからも吉川のお祭りとして、これまでの伝統を引き継ぎながらも新たな取り組みなども検討しながら、より充実した祭りにしていきたいと考えています。



▲ 吉川若衆会（第1町内会）の皆さん

議会へのおさそい

皆さん傍聴してみませんか

インターネットでもご覧いただけます

次回定例会は
9月です

編集後記

昨年の7月は未曾有の豪雨災害があり、町内各地で甚大な被害が発生しました。早くも一年が過ぎ、今年度の町の予算は災害復旧を第一として取り組んでいます。行政と議会が力を合わせ、町民の皆さんとともに安全安心なまちづくりに頑張っていきたいと思えます。

今年の月山筍のシーズンは終わりました。タケノコやシオデなど、月山ブランドの拡大などを含めた第6次総合計画の重要な課題が山積みです。

課題解決に向け、議会も全力で取り組んでいきます。暑い夏がやってきます。皆様、お体には十分ご自愛ください。

(佐藤耕二)

発行・編集責任者

議長 井場 榮治

編集委員

委員長 横山 修
副委員長 佐藤 耕一
委員 伊藤 哲治
委員 佐藤 幸吉

●ご感想の寄せかた